

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	都市計画マスタープラン事業			事業コード	0763
担当課等	所属名	都市整備部 都市計画課	担当係名		
	課長名	都市整備部 都市計画課 伊藤 純	担当者名	舞良 真	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード 3
	基本事業	市民参加の推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 5目 都市計画調査事務(001-01)	
	特記事項	新市建設計画事業				
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 11年度～)		
事務事業の概要	盛岡市都市計画マスタープランに関する事業(マスタープランの見直しに関する作業、ワークショップ開催による住民意見を反映した地域別構想の充実及び策定、マスタープランの内容周知及びそれに伴う資料作成と関連事業のフォローアップ)					
根拠法令等	都市計画法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成4年に都市計画法が改正され、市町村が自ら都市計画に関する基本方針(都市計画マスタープラン)を定めることとされた。本市では平成11年度から平成13年度にかけて、盛岡市都市計画マスタープランを策定し、平成14年度から平成17年度にかけては、地域別構想に市民意見を反映させるためワークショップを開催し、計画の充実を図った。平成18年度には、玉山区の地域別構想の策定を行い、平成21年度には見直しによる改定を行っている。 都市計画マスタープランに関する周知については、市民意見の反映を重視する観点から、情報紙やホームページにより情報発信などのPRに努めてきた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民協働のまちづくりについての市民意識は年々高まっており、住民及び議会からも計画の策定における市民意見の反映とまちづくりについて積極的に進めるよう要望があった。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
まちづくりへの取組みなど、まちづくりに対する市民意識の高まりは今後と高まっていくと思われ、盛岡市都市計画マスタープランの役割はさらに重要になって行くと思われる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 都市計画マスタープラン見直しによる最適化	単位	件
			B. 盛岡市の人口	単位	人
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 作業の進捗率	単位	%
			B. まちづくり出前講座等における都市計画マスタープランの周知	単位	回
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 計画の改定と周知 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
			B. ホームページの閲覧者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	協働事業の件数(単位: 件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	都市計画マスタープラン見直しによる最適化	件	0	1	0	0	0	0	年度
対象 指標B	盛岡市の人口	人	292,035	291,709	290,000	298,572	290,000	289,000	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	作業の進捗率	%	50	100	100	100	100	100	年度
活動 指標B	まちづくり出前講座等における都市計画マスタープランの周知	回	-	-	-	-	3	3	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	計画の改定と周知	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B	ホームページの閲覧者数	人	8,511	6,519	15,414	8,000	8,000	8,000	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,450	2,440	0	0	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円	0	0	0				*****
	⑤県	千円	729	2,440	0	0	0	0	*****
	⑥地方債	千円			0				*****
	⑦一般財源	千円	721	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,450	2,440	0	0	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間	3,000	3,000	100	100	100	100	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	12,000	12,000	400	400	400	400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,450	14,440	400	400	400	400	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 都市計画の市域全体と地域毎の基本的な考え方は平成21年度に見直しを行い、それを市民に広く周知することにより、市民のまちづくりへの関心を高め、結果として市民協働のまちづくりを進めることができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:本市のまちづくりなどに関する市民向け情報紙の発行や、ホームページへの掲載などにより、まちづくりへの関心を高める余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:都市計画法に定められた、市域における都市計画の基本的な方針を定める事業のため、休止は考えられない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:都市計画区域マスタープラン ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:法の定めにより、県と市町村の役割が規定されており、統廃合はできない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:最低限の事業費で対応しているため、これ以上の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:最低限の人件費対応しているため、これ以上の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:市域全体を対象としており、公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

**4. 事務事業の改革案(Plan)**

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  継続的に行われる事業であり、計画の周知により市民協働のまちづくりへの関心を高める。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  計画への関心を高めるため、より具体的に、分かりやすい計画とするとともに、関連事業のフォローアップなどによる最新の情報とする。</p>
---------	--

**5. 課長意見**

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>都市計画マスタープランに基づき、各地区におけるまちづくりを進めるとともに、区域区分, 地域地区, 地区計画等の見直しに取り組む必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>市民への周知に向けた情報の更新や情報提供を進めるとともに、改定したマスタープランに基づき、各地におけるまちづくりを進めていくほか、区域区分, 地域地区, 地区計画等の見直しに取り組む。</p>												